



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 椿本興業株式会社

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 椿本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	57,043	10.5	1,226	151.5	1,316	128.4	450	131.3
23年3月期第3四半期	51,601	19.2	487	—	576	—	194	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △1百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	14.01	—
23年3月期第3四半期	6.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	48,794	11,566	23.5
23年3月期	43,701	11,827	26.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,485百万円 23年3月期 11,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	9.3	1,600	35.8	1,800	39.4	700	21.9	21.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	32,489,845 株	23年3月期	32,489,845 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	308,142 株	23年3月期	302,951 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	32,184,161 株	23年3月期3Q	32,190,370 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 追加情報	9
5. 補足情報	10
受注、販売及び仕入の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、欧州での金融不安や米国経済の低迷が見られたものの、中国をはじめとするアジア諸国では高い成長が継続され概ね順調に推移いたしました。国内においては、東日本大震災からの早期復旧が進み、外需中心に景気を持ち直し傾向が見られました。

しかしながら、長期化する円高・株安・原材料高、欧米経済の景気低迷に伴う中国経済の減速に加え、タイの大洪水の影響もあり、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下において、当企業グループは、国内外における営業協体制の強化徹底により、比較的好調な自動車関連、新エネルギー関連、食品・医薬関連等に営業展開を計った結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は約10%増加いたしました。営業利益・経常利益・四半期純利益は徹底した営業費用の削減等により、前年同期を大きく上回りました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、

売上高	570億43百万円	(前年同期比	110.5%)
営業利益	12億26百万円	(251.5%)
経常利益	13億16百万円	(228.4%)
四半期純利益	4億50百万円	(231.3%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

動伝事業

当事業は、株式会社椿本チエイングループのパワトラ商品を中心として、国内外の動力伝動商品の全般を取り扱っており、その売上高は全体の約53%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、半導体・液晶業界を中心としたIT関連分野での冷え込みはあるものの、自動車部品関連は震災後には順調に売上が回復し、当事業の外部顧客への売上高は、303億33百万円（前年同期比99.9%）となりました。

設備装置事業

当事業は、株式会社椿本チエイングループのマテハン商品、当社独自のエンジニアリングによるツバコーシステム商品を中心に、産業分野全般にわたり搬送設備等の自動化・省力化商品を提供しており、その売上高は全体の約35%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、エネルギー関連、自動車関連、製紙関連、食品関連分野を中心に震災復旧に向けた国内設備需要、アジア諸国を中心とした海外向け設備需要が増加し、当事業の外部顧客への売上高は、197億46百万円（前年同期比130.8%）となりました。

産業資材事業

当事業は、不織布製品をはじめ合成樹脂原料及びその成型加工品、カルマーポンプ、新素材商品等幅広い商品を取り扱っている部門であり、その売上高は全体の約12%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、従来商品及び新規開発商品の三角ティーバッグ高速自動製造機が順調に売上の増加に寄与し国内外で業績を拡大することができたため、当事業の外部顧客への売上高は、69億63百万円（前年同期比113.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は487億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億92百万円増加いたしました。流動資産は57億64百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が12億43百万円増加、受取手形及び売掛金が27億26百万円増加、商品及び製品が3億70百万円増加、仕掛品が10億96百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、6億72百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前年度末に比べ下落したことにより7億18百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は372億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億53百万円増加いたしました。流動負債は54億48百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が53億0百万円増加したこと等によるものであります。一方、固定負債は95百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は115億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少いたしました。主な要因は、当四半期純利益を4億50百万円計上したものの、配当金の支払いを2億57百万円実施した上、その他有価証券評価差額金が4億42百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、長期化する円高・株安・原材料高等が懸念されるものの、東日本大震災の復旧が進み設備投資が回復傾向にあるとともに、好調な海外投資も期待されます。

当企業グループにおける連結通期業績については、売上高、営業利益、経常利益については概ね予想値通りに推移するものと思われま。

当期純利益につきましては、改正法人税法の公布に伴い、法人税率変更による繰延税金資産の取り崩し税金費用が増加することによりやや減少するものの、予想値は達成できるものと見ております。

(通期連結業績予想)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	連結当期純利益 (百万円)
通期	81,000	1,600	1,800	700

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,941	5,185
受取手形及び売掛金	26,706	29,433
商品及び製品	1,781	2,152
仕掛品	1,771	2,867
繰延税金資産	192	149
その他	852	1,227
貸倒引当金	△183	△187
流動資産合計	35,062	40,826
固定資産		
有形固定資産	571	598
無形固定資産	88	71
投資その他の資産		
投資有価証券	6,435	5,717
その他	1,704	1,711
貸倒引当金	△160	△130
投資その他の資産合計	7,979	7,298
固定資産合計	8,639	7,967
資産合計	43,701	48,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,245	30,546
短期借入金	210	210
未払法人税等	636	230
役員賞与引当金	90	101
前受金	1,619	2,124
繰延税金負債	7	10
その他	274	311
流動負債合計	28,084	33,533
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	1,120	1,133
長期未払金	462	359
繰延税金負債	0	0
その他	206	201
固定負債合計	3,790	3,694
負債合計	31,874	37,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	6,489	6,682
自己株式	△82	△83
株主資本合計	11,158	11,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	221
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△67	△88
その他の包括利益累計額合計	596	135
少数株主持分	72	81
純資産合計	11,827	11,566
負債純資産合計	43,701	48,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	51,601	57,043
売上原価	44,900	49,217
売上総利益	6,700	7,826
販売費及び一般管理費	6,213	6,599
営業利益	487	1,226
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	98	113
持分法による投資利益	51	32
その他	50	28
営業外収益合計	202	177
営業外費用		
支払利息	28	23
売上割引	21	24
為替差損	18	24
シンジケートローン手数料	32	1
その他	11	13
営業外費用合計	114	87
経常利益	576	1,316
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	41	—
特別利益合計	41	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	5
投資有価証券評価損	89	115
ゴルフ会員権評価損	4	0
その他	0	—
特別損失合計	94	120
税金等調整前四半期純利益	523	1,195
法人税、住民税及び事業税	336	557
法人税等調整額	△11	170
法人税等合計	324	727
少数株主損益調整前四半期純利益	199	467
少数株主利益	4	16
四半期純利益	194	450

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	199	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	△437
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	△9	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△14
その他の包括利益合計	△201	△469
四半期包括利益	△2	△1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△0	△10
少数株主に係る四半期包括利益	△1	8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	動伝事業 (百万円)	設備装置 事業 (百万円)	産業資材 事業 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	30,378	15,095	6,127	51,601	—	51,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	590	2,640	482	3,713	△3,713	—
計	30,969	17,736	6,609	55,314	△3,713	51,601
セグメント利益 又は損失(△)	750	△29	199	920	△432	487

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	920
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△433
四半期連結損益計算書の営業利益	487

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	動伝事業 (百万円)	設備装置 事業 (百万円)	産業資材 事業 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	30,333	19,746	6,963	57,043	—	57,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,206	1,791	1,203	4,200	△4,200	—
計	31,539	21,537	8,167	61,244	△4,200	57,043
セグメント利益	978	450	358	1,787	△560	1,226

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
動伝事業	ローラチェーン及び鎖車、タイミングチェーン及び歯付きベルト、 各種搬送用チェーン、各種カップリング、各種電動機、制御機器、 各種変減速機、電子機器、その他伝動機器
設備装置事業	クリーンエネルギー関連設備、医薬・バイオ関連設備、化学機械装置、水処理装 置、食品機械、その他環境装置、工作機械、鍛圧機械、産業用ロボット、各種コ ンベヤ、各種自動化装置、サイロ設備、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装 置を含むFAシステム、建築請負工事
産業資材事業	各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,787
セグメント間取引消去	△6
全社費用(注)	△554
四半期連結損益計算書の営業利益	1,226

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

5. 補足情報

受注、販売及び仕入の状況

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
動伝事業	32,658	+1.7	5,506	△9.6
設備装置事業	28,123	+58.0	15,965	+28.6
産業資材事業	8,012	+14.4	941	△22.1
調整額	△4,592	—	△2,022	—
合計	64,201	+22.5	20,390	+14.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
動伝事業	31,539	+1.8
設備装置事業	21,537	+21.4
産業資材事業	8,167	+23.6
調整額	△4,200	—
合計	57,043	+10.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
動伝事業	27,396	+1.9
設備装置事業	20,091	+21.8
産業資材事業	7,397	+25.1
調整額	△4,200	—
合計	50,684	+11.2

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。